

## (5) 町に<sup>つた</sup>伝わる古いもの

### ① 町で<sup>たいせつ</sup>大切にしているもの

塩川町には、むかしから<sup>つた</sup>伝わっている<sup>たいせつ</sup>大切なものがたくさんあります。町のあちこちにある古い建物や昔のようすを伝えるものを調べてみると、そのころの人々の生活や考え方がわかります。

その中には、<sup>※くにしてい</sup>国指定となる<sup>よてい</sup>予定のものが1つ、<sup>けんしてい</sup>県指定のものが4つ、<sup>まちしてい</sup>町指定のものが25あります。(平成12年3月<sup>げんざい</sup>現在)

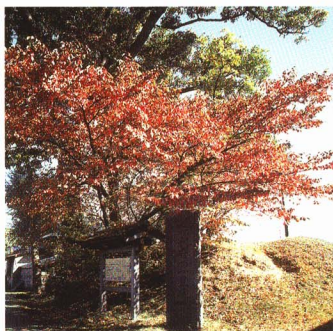
その土地にくわしいお<sup>としよ</sup>年寄りや、町の<sup>れきし</sup>歴史を調べている人などに話を聞いたり、<sup>しりょう</sup>資料室に行ったりして、わたしたちも調べてみましょう。



ふるやしきいせき <sup>よてい</sup> 古屋敷遺跡 (国指定の予定・堂島学区)



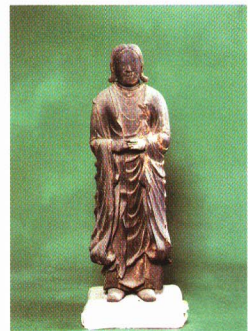
とこよはらだいせき 常世原田遺跡 (県指定・駒形学区)



べっふ いちりづか 別府の一里塚 (県指定・塩川学区)



もくぞうよりんかんのんざそう 木造如意輪観音座像 (県指定・駒形学区)



もくぞうしょうとくたいしりゅうそう 木造聖徳太子立像 (県指定・駒形学区)

※<sup>してい</sup>指定…国や県や町が、<sup>だいじ たから</sup>大事な宝としてきめたもの